



大山晃 議員

●文化財行政の現状は ●農道舗装を早急に

文化財行政は

問 発掘調査の現状と今後の計画は。

答 総合窓口課長

東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業は平成26年3月で現場は終了予定です。今後は松尾山修験道の遺跡調査、国指定史跡友枝瓦窯跡の発掘調査、スマートインターチェンジ用地の調査を予定しています。

問 出土品の保管について、量と保管場所の状況は。

答 総合窓口課長

出土品の保管は、中央公民館支館の地下、支館裏のユニットハウス、支所の横にある文化財センターの旧機械室に収蔵しています。収蔵量は

20㍑のコンテナケースに約5000箱、各種開発事業に伴うものが、約300箱あります。

問 学校教育に役立っているか。

答 教務課長

文化財行政の学校教育へのかかわりは、町内各校の小学校3年生以上で、総合学習の時間と、社会の時間に歴史学習を行っています。南吉小は『再発見、上毛の文化遺産』、西吉小は『昔の暮らし、郷土をひらく』など各校とも歴史学習を文化財係に協力してもらい、趣向を凝らした内容で、行っています。



歴史学習風景



農道舗装を早急に

問 圃場整備後の舗装率は。

答 建設課長

農道延長は約109キロです。平成23年度までに実施している舗装延長約89キロです。残りは約20キロあります。率に直すと約81.6%が完了しています。完了までに約5年かかります。

問 前倒しはできないか。

答 町長

産業振興課と協議し、調整します。

障がい者スポーツの支援は

問 障がい者スポーツの支援の充実を検討して頂きたいが。

答 健康福祉課長

現在、身体障がい者福祉会に町から助成金を支出しています。行政の責任の範囲で福祉行政の充実につなげたいと考えています。ただし補助金ありきではなく、団体などの活動計画を精査し、必要な助成は検討したいと思えます。



障がい者スポーツ大会風景

東高跡地宅地化は

問 東京在住者の造成設計では、田舎の生活にミスマッチがないか。

答 企画情報課長

上毛町を見て、考えていた。だいた設計だと思っ

問 町は『住民自治の向上』を課題としている。購入希望者を集め、意見をくみ上げ、事業計画に反映する機会をつくるべきでは。

答 企画情報課長

住宅生産財団に販売計画をお願いする予定です。大手ハウスメーカーなどの話を聞きながら検討します。意見を反映する機会は考えています。

問 緑地帯が多い計画となっているが、管理はどうするのか、共益費などを徴収するのか。

答 企画情報課長

購入者の方で管理組合を作るなどして管理して頂くかと考えています。

問 販売開始はいつからか、予約販売も検討すべきでは。

答 企画情報課長

これから実施設計、工事となるので販売開始時期は今のところ明示できません。予約販売という形も考えられます。

大池公園周辺施設の指定管理の今後は

問 来年度以降の施設管理の範囲は。

答 企画情報課長

運動場と体育館、県道より西側の『ふるさと手づくり村』を今回の公募から外し、大平楽・さわやか市・ログハウス・公園部分の範囲を管理委託します。

問 分離した施設などの管理はどうするのか。

答 企画情報課長

体育館・グラウンドは指定管理が直営か検討します。『ふるさと手づくり村』は指定管理という方針です。

問 出荷者から『さわやか市』を本来の直売所の姿に戻してほしいと要望があるが。

答 産業振興課長

産業振興のひとつの施設と位置づけています。今後は指定管理者と生産者、出荷者との間に入り調整させて頂きたいと考えています。

問 指定管理制度は民間の活力・ノウハウを導入し、より良い施設活用が目的で導入されたはず。具体的にどのような効果があったと思うか。

答 町長

直営制度を廃止するのが趣旨であると考えています。成果は上がっていると考えています。



●障がい者スポーツ ●東高跡地宅地化は ●大池公園周辺施設の指定管理の今後は



宮崎昌宗 議員



大山晃 議員